

## (2) 港区全体のまちづくりの方向性の設定

前項でまとめた「まちづくりの方向性に設定に必要な視点」を踏まえ、港区全体のまちづくりの方向性を次のとおり設定し、各エリアの特色を活かしつつ港区全体が一つになったまちづくりを推進していきます。

### 方向性① 湾岸部と都心部・府外をつなぐターミナルとして、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくり

大阪の海の玄関口として、湾岸部と都心部さらには瀬戸内海など大阪府外をもつなぐターミナルとして都市機能が集積する弁天町駅周辺、八幡屋公園を中心として良好な住居エリアを形成している朝潮橋駅周辺、港湾物流機能や集客観光施設が集まる大阪港駅周辺など、エリアの特性を活かした、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくりを推進していきます。

【関連するSDGs】



### 方向性② 水辺の特性や公園などの開放的な空間のポテンシャルを活かした快適で災害にも強い居住環境を創出するまちづくり

港区は、古くから大阪湾岸部における住宅供給地としての役割も担っており、大阪・関西万博やIR誘致などによって増加が見込まれる湾岸部の居住ニーズの受け皿となるよう、水辺の特性や公園などの開放的な空間のポテンシャルを活かした快適で災害にも強い居住環境を創出するまちづくりを推進していきます。

【関連するSDGs】



### 方向性③ 多様な関係者との公・民・地域連携による創業・継続のしやすいまちづくり

エリア特性に応じた持続可能な取組みの実施にむけて、良好な地域コミュニティや企業等のつながりを活かした多様な関係者との公・民・地域連携の仕組みを構築することにより、創業・継続のしやすいまちづくりを推進していきます。

【関連するSDGs】



■ 主な上位計画と港区全体のまちづくりの方向性との関係性

主な上位計画

大阪の成長戦略（平成 30 年 3 月改訂版）

- 成長のための 5 つの源泉として、①内外の集客力強化 ②人口減少、少子高齢化に対応した人材力強化・活躍の場づくり ③強みを活かす産業・技術の強化 ④アジア活力の取り込み強化・物流人流インフラの活用 ⑤都市の再生を掲げている。

大阪市人口ビジョン（令和 2 年 3 月更新）

- 今後の取組を検討するうえでの基本的視点として、①出生率の増加 ②現役世代の活躍 ③東京一極集中の是正 ④安全・安心の地域が掲げられている。

大阪市ひと・まち・しごと創生総合戦略（令和 2 年 3 月更新）

- 基本目標として、①魅力と活力あふれる大阪をつくる ②若者・女性が活躍できる社会をつくる ③健康で安心して暮らし続けられる地域をつくる を設定

大阪市未利用地活用方針（平成 19 年 6 月策定）

- 市民の貴重な財産である未利用地については、土地の保有の必要性とのバランスを考慮しながら、可能な限り売却に取り組むこととしている。
- 活用見込みがなく当該地の有効活用や税外収入確保に資するため処分を検討することが適当と判断されるもの、処分することにより周辺地域の発展に寄与するものは、処分を進めていくこととしている。

市政改革プラン 3.0（令和 2 年 4 月策定）

- 6 つの改革の柱に沿って具体的な方向性と取組内容を設定し、各所属長のマネジメントのもと、PDCA サイクルを徹底しながら改革を進め、ICT を活用した市民サービスの向上や、官民連携の推進、働き方改革などに取り組んでいくこととしている。

夢洲まちづくり基本方針（令和元年 12 月 18 日策定）

- 他のエリアからのアプローチを可能とする海上アクセス拠点を整備や、他のベイエリア（舞洲、咲洲、天保山・築港地区・此花西部臨海地区等）との連携強化について、それぞれの地区での取り組みやそれをつなぐ仕組みの具体化を図る必要があるとしている。

大阪市弁天町地区交通バリアフリー基本構想（平成 16 年 4 月策定）

- 「都市基盤のバリアフリー化と人のやさしさに支えられた安全、快適、潤ある、ふれあいのまち弁天」を基本理念に、重点整備地区の鉄道駅舎や道路・公園等の公共空間の一体的なバリアフリー化を進めている。

大阪市営住宅ストック総合活用計画（平成 28 年 3 月策定）

- 市営住宅の住棟ごとに適切な活手法や必要となる計画改修を選定し、その実施方針を定めており、今後、本計画に基づき、市営住宅ストックを良好な社会的資産として有効活用していくこととしている。
- また、地域のまちづくりへの貢献として、建替余剰地や低未利用地において、民間活力も活かしながら、地域のまちづくりへの貢献に努めることとしている。

港区全体のまちづくりの方向性

【方向性①】

湾岸部と都心部・府外をつなぐターミナルとして、新たな価値や面白さを創造し再発見するまちづくり

【方向性②】

水辺の特性や公園などのポテンシャルを活かした快適で災害にも強い居住環境を創出するまちづくり

【方向性③】

多様な関係者との公・民・地域連携による創業・継続のしやすいまちづくり

### 第3章 エリア別の現状分析と取組みの方向性

#### (1) エリア設定の考え方

- 港区は、三方を海と川に囲まれ、東西方向の区域中心線上に Osaka Metro 中央線弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅の3駅が立地しており、この駅を中心とした、半径1 kmの円に収まる範囲をエリア設定し、エリア別の現状分析と今後のまちづくりの方向性について検討することとします。
- なお、大阪港駅周辺の西部（築港・天保山）エリアについては、平成30年3月に「築港・天保山エリアまちづくり計画」を策定していることから、当該計画に沿った施策を展開してまいります。

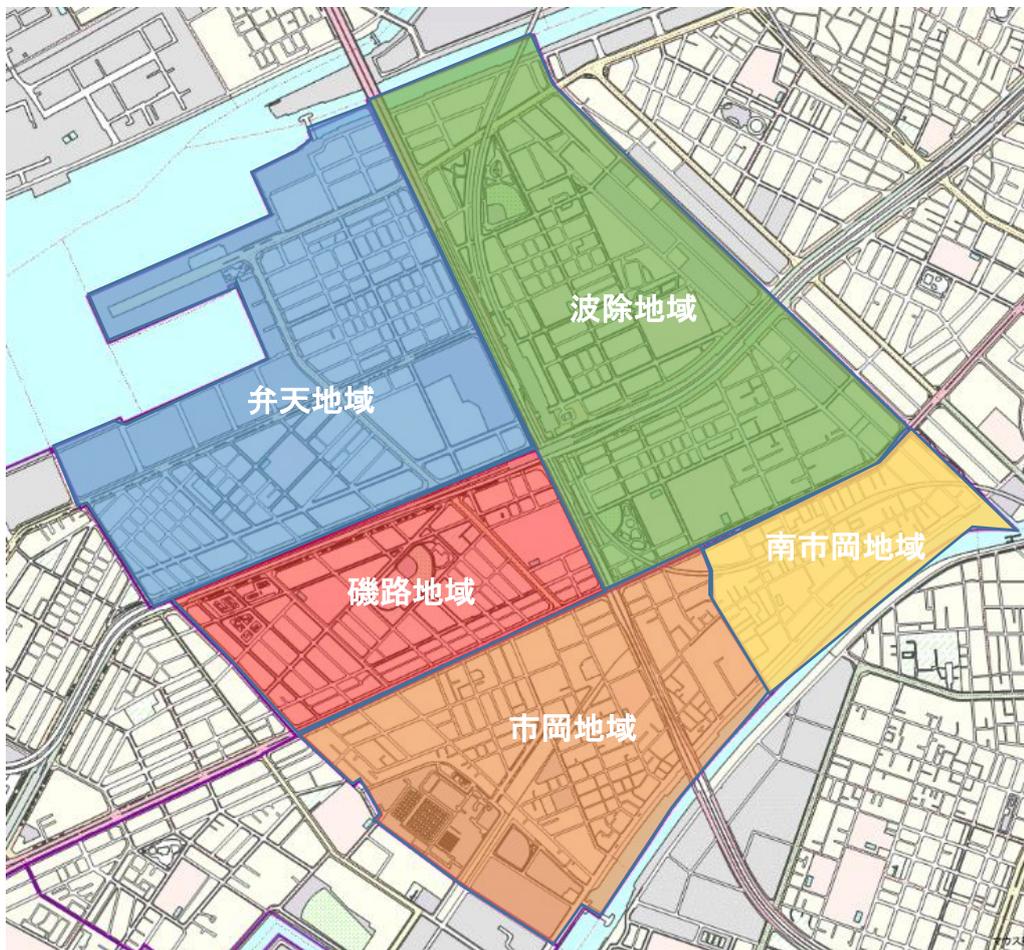
(参考) 築港・天保山まちづくり計画

<https://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000527222.html>

#### (2) 東部エリア

【東部エリアの対象地域】

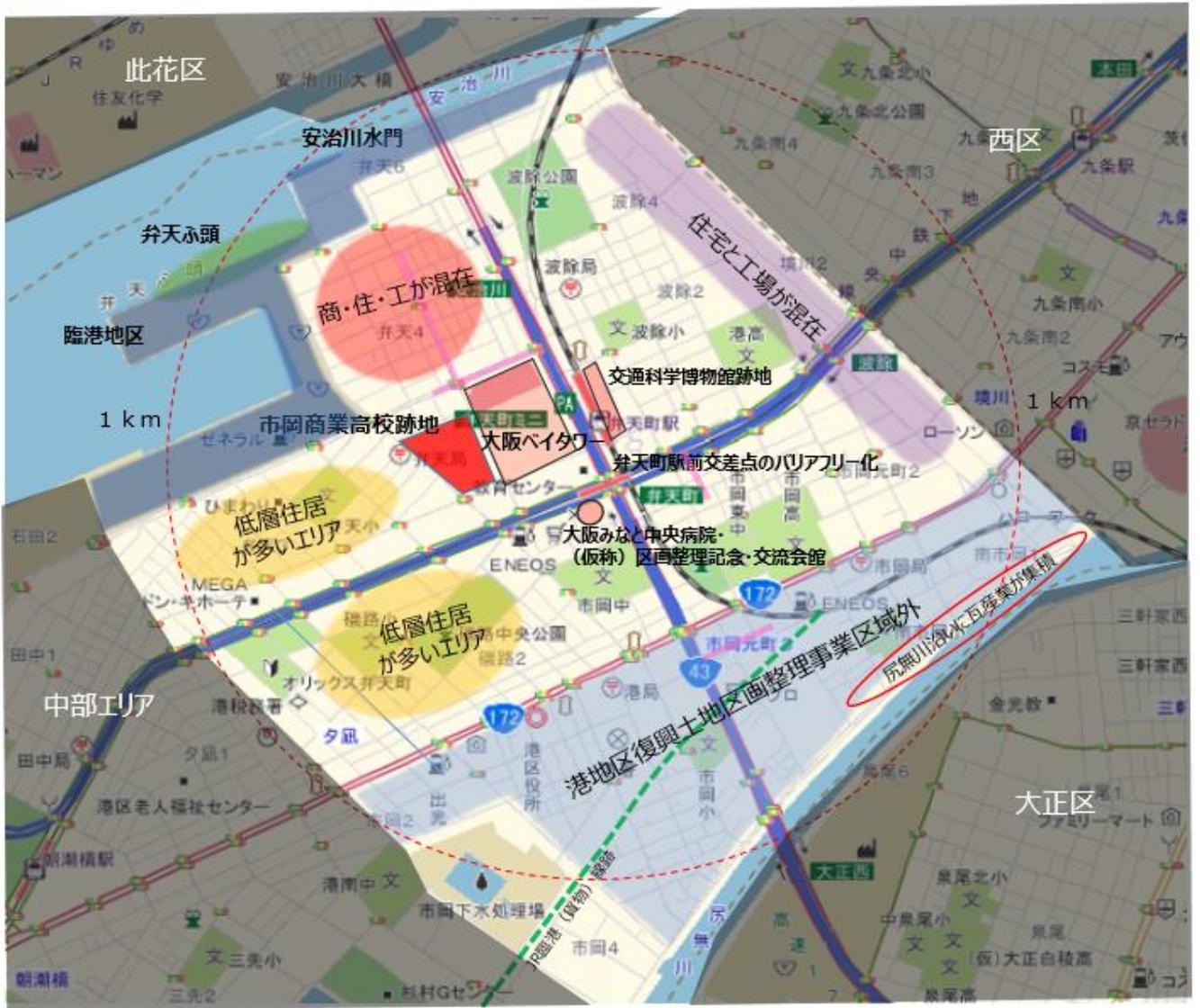
波除地域、弁天地域、磯路地域、市岡地域、南市岡地域



## ○東部エリアの概要

- 弁天町駅周辺は、JR 大阪環状線及び Osaka Metro 中央線が交差する交通結節点であるとともに、区の東西軸である中央大通と南北軸である国道 43 号の主要幹線道路が交差する交通の要衝地となっています。
- また、複合施設である大阪ベイタワーを中心に、弁天町駅前土地区画整理記念事業として、大阪みなと中央病院（令和元年 9 月移転開院）及び（仮称）区画整理記念・交流会館の建設も進められ、港区の玄関口としての拠点形成が進んでいる一方で、市岡商業高校跡地の売却や弁天町駅前交差点地下道のバリアフリー化が課題となっています。
- 西区との境界付近は、ものづくり企業が多く立地するエリアですが、近年、住民の都心回帰の動きを受け、マンション等の建設が進行し、住宅と工場が混在してきています。
- 尻無川沿いにある南市岡地域は、準工業地域として瓦産業などが集積する特色ある街並みを形成し、水辺の利活用のポテンシャルを有していますが、一方で、港地区復興土地区画整理事業の区域外だったため、地盤高が低いため、防災上の課題を抱えています。
- 弁天ふ頭については、平成 7 年に定期航路が廃止されたことでターミナル機能が失われ、周辺のにぎわい形成が課題ですが、旧加藤汽船ビルにおいてアート工房やデザイン事務所などが入居し、個性的な取組みがされています。

## 東部エリアの概要図



(画像出典：マップナビおおさかをベースに加工)

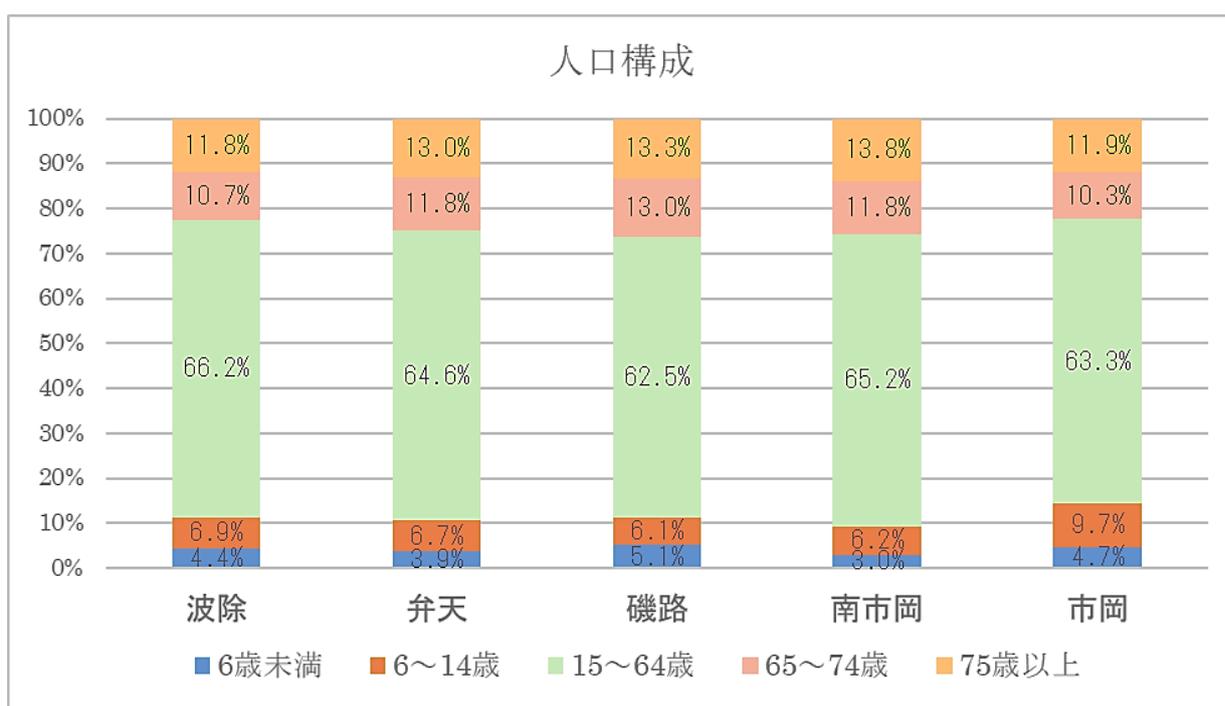
## ○人口動態

- 東部エリアを構成する5地域は、弁天町駅圏内にあり、交通の利便性やスーパーなどの生活利便施設が多いことから、人口合計は44,807人と、区全体の人口の半分以上を占めています。
- 地域別にみると、波除地域が最も人口が多く、工場から住宅への転換も進んでいることから、近年は人口の増加がみられます。
- 高齢化率が高い地域は、磯路地域及び南市岡地域となっており、他の地域と比較すると新規の住宅建築が少なく、若い世代の流入が少ないものと考えられます。
- 15歳未満の世代が最も多い地域は市岡地域となっており、子育て層の居住ニーズが高まっているものと考えられます。

令和2年3月（住民基本台帳）地域別人口一覧表

（単位：人）

	波除		弁天		磯路		南市岡		市岡	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
6歳未満	4.4%	618	3.9%	455	5.1%	342	3.0%	93	4.7%	450
6～14歳	6.9%	973	6.7%	784	6.1%	411	6.2%	194	9.7%	922
15～64歳	66.2%	9,281	64.6%	7,586	62.5%	4,179	65.2%	2,023	63.3%	6,031
65～74歳	10.7%	1,495	11.8%	1,390	13.0%	866	11.8%	366	10.3%	985
75歳以上	11.8%	1,656	13.0%	1,528	13.3%	889	13.8%	429	11.9%	1,138
計		14,023		11,743		6,687		3,105		9,526



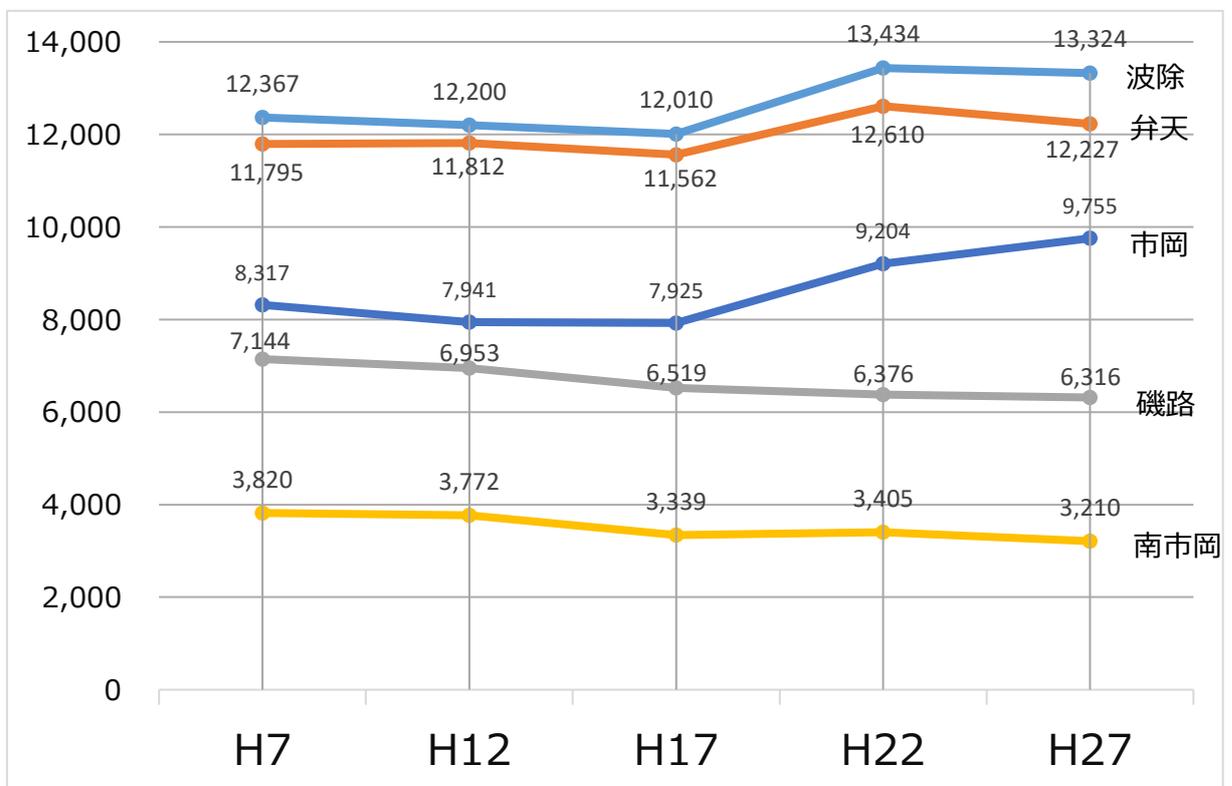
（出典：住民基本台帳人口）

地域別人口の推移（国勢調査結果）

（単位：人）

地域名	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
波除	12,367	12,200	12,010	13,434	13,324
弁天	11,795	11,812	11,562	12,610	12,227
磯路	7,144	6,953	6,519	6,376	6,316
南市岡	3,820	3,772	3,339	3,405	3,210
市岡	8,317	7,941	7,925	9,204	9,755

（単位：人）



（出典：国勢調査）

## ○小・中学校の状況

- 小学校は 5 校あり、波除小学校の普通学級の合計は 18 学級と区内でも最も多い学級数となっています。
- 弁天小学校、市岡小学校の普通学級数は、全学年で複数学級を維持していますが、児童数については減少傾向となっています。
- 南市岡小学校、磯路小学校の普通学級数は、複数の学年で 1 学級となっています。  
※平成 30 年 4 月から南市岡 3 丁目の校区が市岡小学校から南市岡小学校に変更されています。

校名	普通学級							特別支援学級
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
波除	3	3	3	3	3	3	18	6
弁天	2	2	2	2	3	3	14	5
磯路	2	2	2	1	2	1	10	3
南市岡	2	2	2	1	1	2	10	4
市岡	2	2	2	2	3	3	14	5

(出典：令和 2 年度学校現況調査 令和 2 年 5 月 1 日現在)

- 東部エリアに立地する中学校は 2 校あり、市岡中学校の普通学級の合計は 15 学級と区内で最大の学級数を有しています。
- 市岡東中学校の普通学級の合計は 8 学級となっており、令和 6 年度から南市岡 3 丁目の中学校区が市岡から市岡東に変更する予定であることから、生徒数は現状を維持するものと見込まれます。

校名	普通学級				特別支援学級	(参考) 小学校区
	1年	2年	3年	合計		
市岡東	3	3	2	8	4	波除、南市岡 1~2
市岡	5	5	5	15	6	弁天、磯路、市岡、南市岡 3

(出典：令和 2 年度学校現況調査 令和 2 年 5 月 1 日現在)

## ○市営住宅の状況

- ・東部エリアについては、波除住宅が1棟198戸、波除第2住宅が8棟787戸建設されており、全て継続活用となっています。

大阪市営住宅ストック総合活用計画（別冊）令和3年3月  
（東部エリア内を抜粋）

団地名（号館）	戸数	活用手法
波除（1）、波除第2（1～8）	985戸	継続活用

## ○商店街

- ・東部エリアにおける港区商店会連盟に加入している商店街は、市岡元町商店会、オーク弁天商店会、繁栄商店街の3か所となっています。

## ○イベント等のにぎわい形成

- ・東部エリアでは、大阪ベイトワ－のアトリウム広場や港区民センターなど公共空間において、多様なイベントが開催されています。
- ・また、繁栄商店街では、第1土曜日に繁栄ワイワイ市場が開催され、継続的な地域活性化の取り組みが行われています。

### 東部エリアで実施されている主なイベント

イベント名 （開催時期等）	主催	実施場所	イベント概要
弁天まつり （4月開催）	弁天地域活動協議 会	大阪ベイトワ －アトリウム	弁天地域の活性化を目的とした地域主体のにぎわいづくりイベント
POP BAY ～まちのフードコート～ （月1回開催）	ポップベイ運営パート ナーズ	大阪ベイトワ －アトリウム	定期マーケットと季刊誌発行を通じて弁天町エリアの魅力を伝え、エリアの価値向上に取り組む